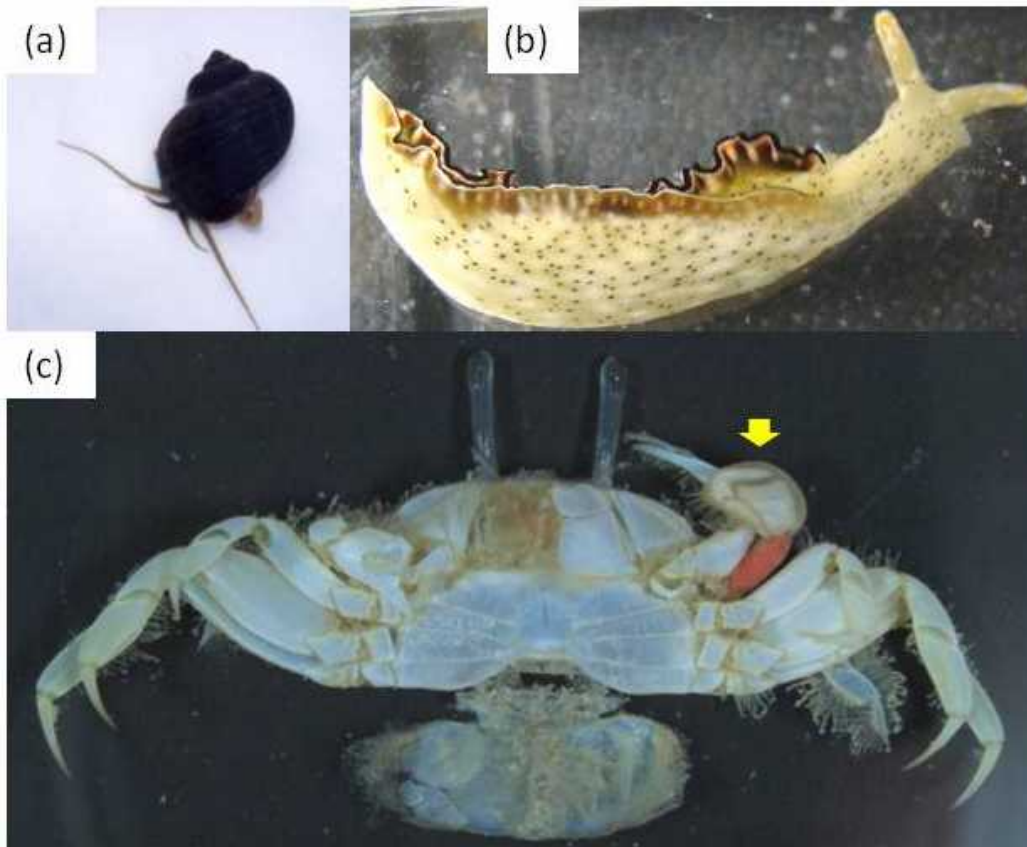


# 淡水・海洋生物の生態・行動・進化に関する研究

生物科学コース 遊佐 陽一



(a) 侵略的外来種スクミリンゴガイ; (b) 囊舌類テンテンコノハミドリガイ; (c) 稀少フジツボ類ハサミエボシ (矢印)

水生動物を主な対象として、究極的には生物の多様性と統一性がどのような理由で生じ、維持されているかについて知りたいと思っています。具体的には、1) ダーウィンが発見した、フジツボ類の性表現の多様性(雌雄同体, 雄と雌雄同体の共存, 雌雄異体がみられる), 2) 貝類の性決定様式の解明(少数の核遺伝子の組み合わせで性が決まることがある), 3) 外来種スクミリンゴガイと他の外来や在来種との関係, 4) 藻類から葉緑体を「盗んで」光合成するウミウシなどを、多くの国内外の研究者と連携しつつ、野外調査と室内実験とを組み合わせせて調べています。

キーワード：貝類，甲殻類，性，生活史，種間関係